

区分

A 中小都市、過疎地など
【人口10万人未満の自治体】

子どもの安心安全な
移動確保・機会格差是正

他分野による交通事業の活用

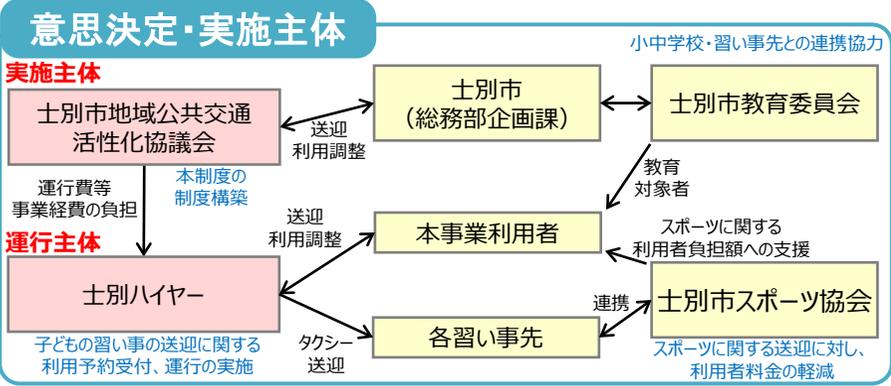
教育・スポーツ・文化
× 交通

対象地域

- 地域：北海道士別市
- 人口：17,858人
- 世帯数：8,184世帯
- 高齢化率：41.2%
- 面積：1,119.22km²

背景・お困りごと

- 「合宿の里」として市民のスポーツへの意識が高い中、**子どもの部活や習い事、少年団活動に関して交通手段がないことで断念せざるを得ない状況が発生**
- **親による習い事送迎の負担があるほか、就業制限により地域としての生産性も低下**
- R5実証では、市街地における利用を確認できたが、**市郊外において利用料金等が高いことに起因し、少数の利用しかなく、市郊外の送迎について改善が必要**



実施内容

小中学生が習い事などに通う際に、乗合タクシーを活用して自宅等から習い事先までドアツードアの送迎を行う

概要

- モード：乗合タクシー (道路運送法第21条許可)
- 予約方法：アプリ
- 料金：市街地 400円/人回
市郊外 1,300円/人回 (上士別・多寄・温根別・朝日地区)
- ※「きょうだい割」やスポーツに関する習い事に使える「スポーツ割」の割引を設定



重要ポイント

- **子どもの見守りの観点からも、自宅から習い事の玄関までをドアツードアで送迎することを重視して運行している**
- **市郊外は利用料金が高いため、路線バスを活用し市街地まで移動した後、本事業を活用する方法も周知し、利用者の費用低減を図るとともに、既存バス事業との連携も図った**
- **タクシー事業者からの働きかけをきっかけに、関係者で事業の必要性が共有できており、直接議論できる環境がある**

運行実績・成果

- 運行期間：2024/6/1～2025/2/25
- 利用者数：1,033名 (638運行)
- 平均乗合人数：1.6人/1運行

収入	478,250円 (内訳 運賃収入:335,150円、スポーツ協会の協賛金:143,100円)
支出	357,280円 (バーコードリーダー購入費、消耗品費用等) ※車両は既存タクシーを利用
ランニングコスト	3,429,627円 (運行費用、システム利用料等)
損益	▲3,308,657円 ※協議会が負担 (共創・MaaS実証プロジェクトを活用)

成果

- 利用者から「**家族の送迎負担が軽減した**」という声があった
- これまで両親が共働きで送迎が難しかったが、「**習い事応援タクシー**」のおかげで新たに習い事に通うことができたご家庭があった
- R5から継続することで**アプリ利用登録者数が55人から87人に増加**しており、継続して運行することが重要だとわかった

今後の事業展開

<今後の事業展開時の運行における根拠法令(予定)：道路運送法第21条許可>

- 本事業結果を基に利用料金の適正化、システム導入による効率化、協力団体の拡大等を進め、持続可能な制度にするとともに、公共交通の観点ではなく、教育(部活・習い事)の格差是正の観点から、市の教育事業としての事業化を検討していく